

9月5日から12月28日までの約4か月間、国際情報大学の派遣留学制度を利用して韓国に留学した。そこでの留学で特に印象に残ったことをいくつか紹介する。

まずは「食事」について紹介する。韓国料理と言えば唐辛子を使った辛い料理が印象的だが現地で生活していてももちろん全てではないが辛い料理が多い。幸い私は辛い料理が好みだったため不自由はしなかったが、辛い食べ物が得意だと思っていた私でさえ辛すぎて食べられないといった場面が多くあった。しかし、最近の韓国人でも辛い料理が苦手の人が多らしく注文する際に店員に「辛さ控えめで」と言えば辛さ控えめ絵で提供してくれる店も多くあった。店員から「辛いが大丈夫か」などと聞いてくれることもあった。また、韓国留学に行く以前までは韓国の食事は日本で外食するよりも値段設定が安いと考えていた。しかし、現地に行ってみると日本と値段設定は大して変わらなかった。外食すると一人当たり約6000ウォンから10000ウォンほどかかる。韓国にはおしゃれなカフェが日本よりかなり多いと感じる。値段設定も日本とあまり変わらず自分のお気に入りのカフェを探したり、オシャレなカフェ巡りをしたりするのも楽しかった。

次に「交通」について紹介する。留学先の慶熙大学はソウルの中心部に位置し、寄宿舍から駅も徒歩10分程度だった交通の面ではあまり困ることがなかった。移動に関してはほとんど地下鉄、またはタクシーで移動した。地下鉄は各線ごとに番号分けや色分けがしてありとても分かりやすくなっている。また初めのほうに韓国語に慣れていない時でも次の駅の案内や乗り換え案内の放送が日本語や英語で流れるためほとんど迷わず目的地に行くことができる。タクシーは日本のタクシーよりかなり安く気軽に利用することができた。バスも多く走っていたが少し難しく乗りこなすことができなかった。

今までもこれからも韓国留学に行く人は韓国の歌や歌手に興味がある人が多いと考える。実際に私もそのことに関してとても関心が多く留学以前にも数回だが公演を見に韓国へ来たことがあった。留学前に行った公演は正直何を話しているのか分からないことがほとんどで雰囲気を楽しんでいたが、留学の終わりに私な好きな歌手の公演に行った際、ほとんどどんな話をしているのか理解できるようになり更に韓国語の勉強意欲がわいた。また、公演に行くことで同じ趣味を持った韓国人の友人も作ることができ良い経験になった。

4ヶ月という期間は長いようでとても短かった。しかし、この4ヶ月の間に学んだことも多くあり、人生においてとても良い経験になった。これから留学しようと考えている後輩も後悔しない留学にしてほしい。